

富山大学芸術文化学部卒業制作展セレクション

2022年度の取り組み

THE SELECTION FROM THE GRADUATION WORKS EXHIBITION 2022

●長田堅二郎／富山大学学術研究部芸術文化学系

NAGATA Kenjiro / Faculty of Art and Design, University of Toyama

●Key Words: 展覧会、卒業・修了研究制作展、学部広報、教育・研究成果展示

1. 展覧会概要

富山大学芸術文化学部では、優秀な研究と制作を評価する仕組みとして、2017年度の卒業・修了研究制作展以来、出品された作品や論文を審査し、「GEIBUN SELECTION」として選定を行ってきた。選定された作品と論文は、学部の広報ツールとして広く学外へ公開するために、学生の了承を得た上で、1年間学部で借り受け、翌年の新たな企画展「富山大学芸術文化学部卒業制作展セレクション」(以下、「セレクション展」として、富山県美術館 TAD ギャラリーで展示を行ってきた。2018年に初めて開催された「セレクション展」は、美術館のご厚意により継続的に実施させていただき、2020年度に3回目の開催となった。新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、富山大学芸術文化学部単独主催での高岡キャンパス開催となった2021年度の展示を挟み2022年度で5回目の開催である。展示構成としては作品16点、論文3点の計19点と、比較的少ない展示数で、ゆったりと余裕を持った展示空間を確保し、ウィズコロナの中で感染対策に留意しながら開催することができた。まだ閉塞感の残る日常であったが、子供から大人まで沢山の方に来場していただき、心温まる感想の言葉をいただいた。人と人が直接対面し、会話を通じて芸術を思考することの大切さを改めて実感した。また、学部の教育成果である「セレクション展」を学外の多くの方に見ていただけたことは、富山大学芸術文化学部の取り組みについて理解を深めていただく一つの機会として大変意義深いものとなった。

2. 展覧会実績

■ 2022年度の実績

会期：2022年9月10日(土)～9月25日(日)

休館日：9月14日(水)、20日(火)、21日(水)

会場：富山県美術館 TAD ギャラリー

主催：富山大学芸術文化学部、富山県美術館

後援：富山県

出品数：作品16点、論文3点

企画：富山大学芸術文化学部 展示専門委員会

来場者数：4,798人



富山大学芸術文化学部 卒業制作展セレクション

SCHOOL OF ART AND DESIGN/
GRADUATE SCHOOL OF ART AND DESIGN,
UNIVERSITY OF TOYAMA



THE SELECTION

FROM THE GRADUATION WORKS EXHIBITION



富山県美術館TADギャラリー

2022年9月10日(土)～9月25日(日)

※午前9時30分～午後6時(入館は午後5時30分まで)

※休館日：9月14日(水)、20日(火)、21日(水) ※観覧料：無料

※主催：富山大学芸術文化学部、富山県美術館 ※後援：富山県

【新型コロナウイルス感染症の対応について】

最新の情報は富山県美術館のホームページでご確認ください

図1 展覧会リーフレット(表) デザイン：沖和宏

図(上) 外谷柚季《静謐を語る》

図(下) 酒井日向《to you》

■ 出品者

(学部生) 飯野那々子、今川菜里、氏原菜、鎌上大輔、
亀山文音、北島陽貴、北野美空、酒井日向、杉田茉優、
巢守美羽、外谷柚季、八野日香、林紀歩、林原穂高、
福嶋純之、前田詩織、松本和磨、守田淳花、森野涼帆、
山上桃、山田香菜、吉田陽菜

■ 2022年度 展示専門委員会

委員長 松田愛(全体管理)

副委員長 長田堅二郎(展示計画統括)

委員 平田昌輝(展示運営)

委員 幸亮太(展示計画)



図2 展覧会リーフレット(裏) デザイン: 沖和宏



図3 会場風景
中学生や高校生、お子様連れのご家族など、大勢の来場者で賑わった。



図4-5 会場風景
感染症対策として入出口を分け、来場者の導線をつくった。

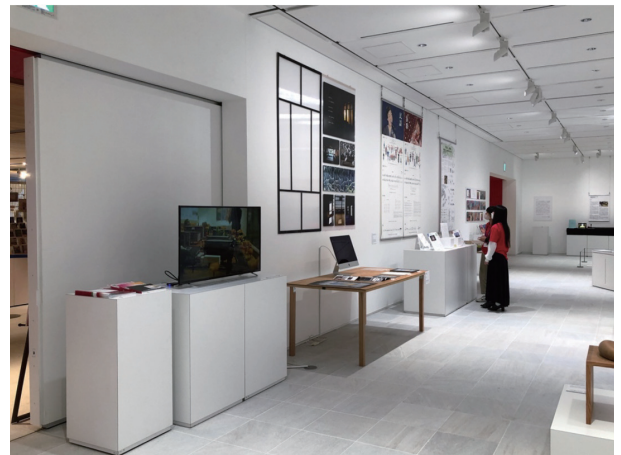


図6 会場風景
出口付近にアンケートパネルを設置。回答への特典として配布した芸文オリジナル缶バッジは今年度も好評であった。

参考

1. 富山大学芸術文化学部公式サイト「富山大学芸術文化学部卒業制作展セレクション」<http://www.tad.u-toyama.ac.jp/about/selection>